

# 新日本スポーツ連盟 東海卓球団体リーグ規定

2024年9月8日

## 第1条《名称》

新日本スポーツ連盟東海卓球団体リーグと称する。

## 第2条《目的》

- 本リーグは、加盟クラブとクラブ員が目標を明確にしたスポーツ活動を通じて、競技力を客観的にとらえることによりいっそうの競技力向上を図ることをめざす。
- 加盟クラブの親睦と交流を深め、東海の卓球界と新日本スポーツ連盟愛知卓球協会の発展を全体でなう組織となることをめざす。

## 第3条《リーグ期間》

年間（4月から3月）2回以上の開催とする。

## 第4条《チーム登録について》

- チーム登録書による、事前のチーム登録は廃止し、各大会の申込のみでエントリーできるものとする。

## 第5条《参加資格》

- 新日本スポーツ連盟に加盟登録している選手で編成されているチーム。選手の加盟登録の期限は、申し込む大会の締切日までとする。（事務所必着）
- 登録の都道府県はこれを問わない。

## 第6条《チーム編成》

- 同一クラブのメンバーで、4人～8人とする。困難な場合は、他クラブとの混成メンバーでの編成を可とする。但し、男女混成チームは不可とする。
- 同一クラブで、複数のチームが出場をすることができる。但し、別日程でも同じ回数の大会に同じ選手は、1度しか出場する事ができない。
- チーム名について
  - 加盟登録クラブ名とし、2チーム以上申込みの場合、編成順に（或いはレベル順の上位）よりABCとする。
  - 複数クラブの混成の場合はいずれかのクラブ名に統一する。
  - メンバー全員が個人でクラブ名がない場合は、新たにチーム名を付ける。
  - 次回以降も同じチーム名で申し込む事
- ゼッケンは連盟加盟登録クラブ名のもを着用する。（他クラブとの混成チームも各自の所属加盟クラブ名のもを着用すること、県外のメンバーは所属の連盟ゼッケンを着用すること）大会当日忘れた場合は、無地の加盟登録ゼッケンを購入して着用すること。
- 大会出場申込みをしたチームのメンバーの追加・変更は、同一クラブ員で困難な場合は他クラブ員でも可とするが、その大会の締切日前までに加盟登録を完了している選手に限る。同じ回の大会に出場の選手は不可とする。

## 第7条《ランク区分》

当面の間、レベル別に1部～6部とし、参加数の増減により、将来変更する事もあり得る。

## 第8条《試合形式》

- 1試合1ダブルス4シングル制とする。
- 3点先取を勝ちとする。
- 1チームの出場選手数は1試合あたり4人以上6人までとする。（エントリーは4～8人可）
- 試合順序は①ダブルス、②シングルス、③シングルス、④シングルス、⑤シングルスとし、①ダブルスに出場した選手は②、③のシングルスには出場できない。④のシングルスに出場した選手は、⑤のシングルスに出場できない。また、②～④のシングルスにも2度出場できない。
- 原則ゲーム数は、①3ゲームスマッチ、②～④5ゲームスマッチ、⑤1ゲームマッチとする。但し試合進行の都合上、各大会プログラムにより変更する場合もある。
- オーダーは交換前までに①～⑤まで全て決定しておく事。
- 原則として4～6チームによるリーグ戦とする。各大会のプログラムによる。

## 第9条《成績の判定基準》

- リーグ戦最多勝のチームを優勝とする。
- 2チーム以上の勝敗が同一の場合は、そのリーグ全試合のマッチの勝率、それも同一の場合は、ゲーム、ポイントの順で勝率計算によって順位を決定する。
- 部を併合したリーグの場合は、部の違う試合は交流試合とし、各部毎に順位を決定する。

## 第10条《部の昇降》

1. 詳細は当日の大会プログラムに掲載する。
2. 棄権の場合は、次回より降部する。(ここでいう棄権とは最終締め切り以後、当日も含めた出場取りやめをいう。)なお連絡なく棄権したチームは降部するとともに次回の出場を認めない。
3. 前回の出場よりチームのメンバーが半数以上変わる場合は、各メンバーのおよその平均値の部門へ申し込む事。
4. 初めて出場する選手が半数以上いるチームは新規チームとみなし、出場する部門に規定はないが、なるべく実力に見合った部門へ申し込む事。

#### 第11条《財政》

1. 各大会とも、そのリーグ戦の入金期間に参加費を納める。

#### 第12条《運営と体制》

1. 愛知卓球協会理事会のもとにリーグ戦に関する事項を執行する。
2. 愛知卓球協会理事会はリーグ戦の目的の遂行と競技の充実のため管理・運営を行う。また、本リーグに登録する者はすべてその活動の充実のために協力する。

#### 第13条《細則》

1. 当日、不慮のメンバー不足が生じた場合の処置について
  - 1) 対戦相手の挨拶の時点で4人以上いない場合は、その試合は棄権とみなし0-3の負けとする。ただし、その時点でのメンバーで交流ゲームを行う事は認める。その後の試合開始前の挨拶の時点で4人以上揃った時から正規の試合として認められる。
  - 2) 事故等による不可避的な遅刻の場合は連絡をとり、本部が認めた場合はできる範囲で対戦順序を変更して対応して試合参加を保証する。
  - 3) 最後の試合の途中でも、出番を終えた者が退場することを認める。
2. オーダー交換とオーダーミスが生じた場合の処置について  
オーダーはそれぞれのチームの代表者同士が同時に交換する。間違いがあった場合、その時点でオーダーミスは発生する。  
ただし、対戦相手チームが認めた場合は、修正する事ができる。  
修正する事を許可されなかった場合、オーダーミスをしたそのゲームのみ負けとする。
3. 服装は卓球ができる服装なら自由とするが、白色系は避ける事。

## 継続にあたって

#### 東海卓球団体リーグ継続にあたって

今後もさまざまな問題が発生した場合、選手が主人公の立場を貫き、問題解決に当たります。

下線部 第9回改訂 2024年9月8日